

えひめ教育の日 実施状況

えひめ教育の日とは

愛媛県では、県民総ぐるみで教育について考え、行動する契機となる日として「えひめ教育の日」(毎年11月1日)、「えひめ教育月間」(毎年11月)を制定し、学校や行政だけではなく、家庭や地域などが一体となって、教育の推進を図ることとしています。

今年度、本校では、「えひめ教育月間」中の行事として、文化祭及び人権・同和教育講演会を実施しました。

事業名	文化祭
実施主体名	愛媛県立津島高等学校
日時	令和2年11月7日(土)8:30～14:30
場所	体育館、本館、第二教棟
参加者	保護者、本校生徒、本校職員

「思いよ届け 津高の未来のとびらが開く」のテーマの下、コロナ禍の中ではありましたが、感染防止対策をしっかりと行い、文化祭を開催しました。ステージでは、チアリーダー部、広報部、人権委員会や吹奏楽・合唱部、また生徒会などが、この日のために準備した成果を発表しました。生徒会企画では、今年度が最後となる津島高校の歴史を振り返る劇を披露し、大変盛り上がりました。展示の部では、各クラスや委員会、探究活動グループが、モザイクアート、防災プロジェクト、昔の遊び体験、岩松地区今昔写真展など趣向を凝らした教室展示を行い、生徒や保護者の方々に楽しんでいただきました。PTAの方々には「お楽しみ抽選会」を実施していただき盛況でした。保護者の方々、本当にありがとうございました。大変有意義な文化祭となりました。



事業名	人権・同和教育講演会
実施主体名	愛媛県立津島高等学校
日時	令和2年11月12日(木)14:25～15:25
場所	体育館
参加者	本校生徒、保護者、本校職員

「のらねこ学館」館長さんの塩見志満子先生を講師としてお招きし、人権・同和教育講演会を実施しました。「厳しい道」という演題で、御自身の実体験を基に、身振り手振りを交えながらお話しいただきました。津島高校勤務時代の生徒の話や、子どもさんを白血病やプールの事故で亡くされたお話など、パワフルに語っていただきました。涙しながら聞き入っている生徒もあり、皆、胸を打たれました。

御講話いただきましたことを心に刻み、「人として」大切なことをこれからも学び続け、前を向いて自分らしく生活していこうと、生徒、教職員ともに決意を新たにしました。塩見先生、ありがとうございました。

